

教科の重点【外国語活動・英語科】

	【指導の重点】	【主となる単元・活動場面】	【言語・文化に対する知識・理解を深める活動】 (聞く・話す・読む・書くこと)	【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる活動】
中3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在完了形、受動態等、疑問文・否定文、名詞節の発展的な運用ができるようにする。 ◆ 発展的な表現を用いてコミュニケーションができるようにする。 	Program1 受動態の表現 Program2 現在完了形 My Projectによる領域を統合した活動	前学年の学習内容を基礎とし、繰り返し指導し定着を図る。 言語活動と効果的に関連付けて文法指導を行う。	発展的な英語表現を用いて、積極的に英語を交わす意欲をもたせる。
中2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 過去形・未来形、不定詞、序数の運用ができるようにする。 ◆ 簡単な表現を正しく用いてコミュニケーションができるようにする。 	Program1 過去の表現 Program2 未来の表現 Program6 不定詞が入った表現 Speakingでのコミュニケーション活動	前学年の学習内容を基礎とし、繰り返し指導し定着を図る。 言語活動と効果的に関連付けて文法指導を行う。	簡単な英語表現を正しく用いて、積極的に交わす意欲をもたせる。
中1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在形のbe動詞・一般動詞の初歩的な運用ができるようにする。 (疑問詞での質問、複数形) ◆ 初対面のあいさつ・会話を楽しくめるようにする。 	Program2～3 My project 1 英語での自己紹介 Program4～5 基本的な質問 Program6 他者の紹介（3人称単数現在）	小学校で慣れ親しんだことのある身近な言語の使用場面や言語の働きを取り上げ口頭練習や書く練習を繰り返し行う。 カタカナ英語や日本語文との語順の違いを認識させる。	大きな声で表現、友達と英語を交わす喜びをもたせる。 ゲーム等のパターンを身に付けさせ、言語活動を活発にさせる。

	【指導の重点】	【主となる活動場面】	【言語・文化に対する体験的理解を深める活動】 (音声・基本的な表現に慣れ親しむこと)	【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる活動】
小6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国の生活・習慣・行事や言葉・表現にふれ、興味・関心を深めるようにする。 ◆ 簡単な英語を使ってのコミュニケーションに慣れ親しむようにさせる。 	教科関連の活動 ・国語：ローマ字学習 Lesson1・2 「アルファベット大・小文字」 Lesson3 「友達の誕生日を教ろう」 Lesson7 「自分の1日の時刻」 日常的な取り組み ・朝の会での健康観察 ・学級・学年集会でのゲーム等	5年の内容に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行う。 チャット等を取り入れ、楽しみながら、慣れ親しむまで繰り返し活動し、ほめて、自信をもたせる。 依	自分の思いを表現させる場の設定を行う。 グループ等の活動形態の工夫を図る。 (ALTやHRTとの1対1での対話を取り入れる)
小5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国語のリズムなどに慣れ親しみ、言葉の面白さや豊かさに気付くようにする。 	Lesson3 「教で遊ぼう」 日常的な取り組み ・朝の会での健康観察 ・学級・学年集会でのゲーム等 教科関連の活動 ・国語：ローマ字学習 ・音楽：英語が入った歌	児童にとって身近な場面の設定を行い、日常生活ですでに使っている外来語に加え基本的な表現を用いる。 アルファベット等の文字や単語について児童の学習負担に配慮し、補助的に用いる。 (文字を記号として扱い、音声と結びつける)	楽しく活動できる雰囲気づくりを行う。 飽きないで何度も繰り返し行うことができるようなグループ等の活動形態の工夫を図る。 (全体⇒グループ⇒ペア)